



奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉

中国からの手紙 II

川井 秀夫

中国からの越境環境問題について前々号に引き続き検証してみたい。

2 黄砂が降る

西日本の各都市部は勿論、6年ぶりに東京に大量の黄砂が観測された。俳句の世界では「糞る」（つちふる）と言い、この自然現象を春の風物詩として捉えてきたが、中国の経済成長により多量の有害物質を吸着し、自然破壊の懸念が増大しつつある。

中国東部。ゴビ・タクラマカンの砂漠地帯、黄土高原から吹き上がる砂塵が偏西風により日本に飛来する。高温小雨による乾燥が続く、毎年香川県程度の面積が砂漠化が進んでいると言う。北京でも断続的な「砂塵暴」が猛威を振るい、市民生活に大きな被害が現出している。日本の生活環境においても大気汚染・視程障害・洗濯物・車両の汚れ・農業分野への影響が懸念されている。

自然環境の分野でも、黄砂が吸着する有害物質（鉛・硫酸・球状灰粒子等）により土壌の酸性化中和能力が低下し、樹木の枯死が助長され、既に北日本では積雪に含まれる物質が雪解けに伴い地中に浸透、ブナ・ナラの生態系に異変が生じ、蔵王の樹水がアオモリトドマツに代表される生態系の破壊が心配されている。

日本のNGOが、現地で緑化対策に血のにじむ活躍をしているが大自然の前に科学技術が勝てるのか、「螻蛄の斧」と言えば失礼だが人為の力だけでは心もとない。元凶は中国の工業社会の自制にあり、特に石炭エネルギーの転換、経済優先の国策にこそ問題の根幹があると思うが・・・。

3 漂着ごみ

中国・韓国から長崎・北九州・山陰沿岸部に大量のごみが漂着。誤食する魚類・鳥類水生生物、水産資源への混入、回収・処理の費用、観光への悪影響と社会問題化しつつある。国際海岸クリーンアップ活動が毎年36000人を動員し清掃活動するも、お手上げの状態である。

因みに、海ごみのワースト3は①タバコの吸い殻・フィルター ②硬質プラスチックの破片 ③発泡スチロール破片、ガラス破片、紙片、ふた・キャップと続く。

先刻、報道された「越前くらげ」の大量発生も、海水の汚物による富栄養化によるものではないか。（皮肉な事にズワイガニの繁殖を助けていると言う学者もいるが）

国際定期便の損傷事故も鯨では無く、大型ごみの浮遊物では無いかと勘ぐりたくなる。また、離島の漂着物は処理施設が無く、本土まで運ぶコストに泣いている現状もある。

日・中・韓の国際協力が俟たれるが、日本政府はもっと声を上げるべきではないのか

次号は中国の国内問題に触れてみます。

昨年、近鉄上市駅を起点に吉野水分神社と五条へと歩いて以来、今回お世話になりました。三回の参加で楽しくかなり詳しく見聞できました。

卯の花腐し等と言われて曇天が続いておりましたが最高の吉野日和であった。

本日の世話人は事情で川井会長・弓場さんの二人、川井会長の挨拶・弓場さんのコース説明あり、吉野には吉野山はなく最高峰は青根ヶ峰(857.9m)である。

会長より植物案内をする様にとご指示。私の植物観は自己流ですが、早速、出迎えてくれた花々より一言。林縁の明るい所に飾り花を付けた白い花「ガクウツギ」山の頂上付近では見られなかったが道中点々と一番多く見られた花でした。

岩場を好み花が盛んな時には良い薫りがする。少し入った所に咲き始めた「シヤガ」花は一日、花軸には7~8ヶの花の蕾 実には付けない。山肌に「アカシヤ」(針槐)が咲いていた。この木が昨年環境庁より外来種特定注意植物に指定され伐採対象になった。蜻蛉の滝は曲りくねった溪谷を上より円形にくり貫いた様な50mの滝、人工の展望台無しでは滝全体が見られない。岩壁には「イワギボウシ」が一面に生えていた。滝入り口には「マルバウツギ」が咲き始めていた。

大和川以南でしか見られない白色花を多く付ける。人工林の開けた所に「ヤブウツギ」が群がっていた。赤黒紫色の花で前にドを付けたくなるくらい濃紺色である。今回の道中は90%以上人工林中の道であったが人工林は十分でないが程々に間伐されているので、林床には低木が茂り道端にも草木が茂り観察に程を欠かさなかった。音無川上流部林床の「アブラチャン」「クロモジ」の群生は見事であった。音無川を渡って登る所で弓場さん地図の説明、昼食との事。地図を良く見ると行程の三分一も登っていない。昨年は水分神社で昼食でした。先頭で植物談義などしていたらどうなる事か、午後は殿で行こうと決める。

青根ヶ峰近くの林床に小木の「タムシバ」多く見られた。噛む芝がタムシバなると頂上三角点の一服時に噛む事を進めると皆さん甘いと感じて下さった。

西行庵 建て替えられ庵らしい佇まいで座像に頭が下がる思いがした。苔清水と歌った谷もそのもの、訪れる人も多いのか路も整備されていた。さすが歌聖“西行”ここにありの感じがした。私なりの一言いえば庵の周囲は大木の杉林で暗い、山桜の老木が20~30本ある。あの桜の下の西行だから桜の木が一面にほしい。下り道、大きな「ギンリョウソウ」花柄によだれ掛けをした「ナンキンナナカマド」「キンラン」昨年見付けた水分神社の「カヤラン」立ち依て見ると花は小振りであるが咲いていた。境内には「シュンラン」「クリンソ」「スズラン」「フタリシズカ」「ヒトリシズカ」等時期はずれの花を付けていた。

ここからは昨年の道を踊り子草の残り花に見送られて急ぎ足で下る、途中「カンアオイ」「ミヤコアオイ」との花談義、「ウツギ」(卯の花)も咲き始めていた。

走り込みで予定の時間の電車に乗車できた。さすが「奈良・人と自然」感謝感激。吉野は表道は桜だが、裏道には沢山の花の咲く草木があり良い所でした。

【5月度例会】 「蜻蛉の滝から吉野・青根ヶ峰へ」 行事報告

弓場 厚次

日時：平成18年5月24日(水) 近鉄上市駅 9時50分集合 五月晴
 行程：近鉄上市＝西河口…蜻蛉の滝…青根ヶ峰…西行庵…水分神社…如意輪寺…近鉄吉野
 参加者：山田、平塚、高橋、小嶺、砂山、福谷、志水、市村夫妻、渡辺、勝田(緑)
 [担当] 川井、弓場 下見 豊島 計14名

青根ヶ峰(858m)を最高峰とする「吉野山」は今回のコースを含む広い山域の名称で、吉野山と言う山のピークは国土地理院の地形図に見当たらない。今回の担当は豊島様が急用のため川井、弓場が代行し、平塚、渡辺のお二人を新しく迎えて、桜の時期も終わった静かな吉野山を堪能いたしました。



6 月例会

「宇陀・伊那佐山」

平塚 等

適度に曇り、六月とは思えない程爽やかな風の中、矢夕鳥神社を起点にGK川井会長、FW司令塔弓場氏のもと、奇しくも11名の参加者により伊那佐山837.2m目指して、いざ出発。芳野川沿いの美しい田園風景の中、ケリ、カワウ、セキレイをながめ、コース入り口付近の民家にあるナンジャモンジャの大木「五月二十日頃が見ごろらしい」を見上げながら、ひんやりとした山道へと入りました。三十年物3mの杉原木の安価さに驚き、初めてヤブムラサキのピロードの様な葉に触れ、何故：ウバ：ユリなのか、ナルコユリとアマドコロ、フタリシズカの二人とは誰と誰か等とワイワイガヤガヤ。静けさの中にウグイス、ホトギスの鳴き声に心安らぎ、頂上三、四丁手前で20m程わき道へ急下り「折角登ってきたのになんで下りるねん」の笑い声中猿岩展望台へ。遠くうす雲に霞む、大台、大峯山系、手前に鳥見山、貝ヶ平山、大和富士、初夏にかけての目にやさしい緑に吹き出した汗もスーッと引く爽快感でした。その後頂上都賀那岐神社で昼食をとり帰路へ。両手一杯のコアジサイや、スイカズラ w) □ヤブウツギを横目に井足から萩乃里へ、見事なまでのエゴノキの花に感嘆し宇太水分神社、墨坂神社に立ち寄り、先人の神への信仰、水に対する拘り、五穀豊穡を願う農耕神として人々の心のよりどころであったらしい事を伺い知りました。豊かな自然と歴史を感じる歩きやすいコースで、もう一度訪れたいと思います。大変有難うございました。自然と縁遠かった私が心やすらぐ「スローライフ」を取り戻し、新たな人の輪の広がりに感謝の気持ちで一杯です。これからも宜しくお願い致します。

【6月度例会】 「宇陀・伊那佐山」 行事報告

弓場 厚次

日時：平成18年6月4日(日) 近鉄榛原駅 9時集合 晴
 行程：高塚・ヤタガラス神社…山ノ神…伊那佐山…宇陀水分神社…墨坂神社
 参加者：川井、林、川岸、平塚、勝田(緑)、市村夫妻、福谷、豊田、野田、弓場。
 計11名

記紀に伝えられる初代の天皇神武天皇の東征に係わるヤタガラス神社や伊那佐山の都賀那岐神社に、10代崇神天皇の時代が始まりと言われる宇陀・水分神社や墨坂神社等、神話の世界に入り込んだ一日で、淀川の重要な源流域の一つ、芳野川は水量も多く周囲の棚田は既に田植えも終り、伊那佐山が美しい姿を映した快適な観察会日和でした。

社会貢献事業への参加

今年度も黒髪山自然塾を支援!

5月28日(日) AM 9:00~15:00 黒髪山 c/f 天候(晴れ)

テーマ: 自然を食べる(野草料理と草餅搗き)

参加者: 「奈良市民だより」で応募した小学生: 74名

スタッフ: ①「黒髪山運営協議会」: 12名(餅搗き担当)

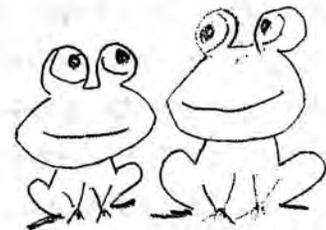
②「奈良・人と自然の会」: 10名<西谷(リーダー・野草料理担当)・

小嶺・齋藤・林・樋口・福谷・古川(祐)・弓場(京)・和田(紀)>

概要: 予想外の多数の参加となり、期日が迫るにつれて慌てさせられた。5月下旬ともなれば一般的に野草が生長して採集するのが困難である。黒髪山 c/f 近傍では野草の採集も困難である。従って、スタッフのストックを持ち寄ると、他の場所で採集したものを持ち込まねばならない。この点では今回リーダーを務められた西谷さんには公私共の犠牲をいただいた。来年度もし同様の教室が企画されるとすれば、桜井市の「NPO 山野草の里作りの会」等に提携を持ちかけるのも試案かと思う。

段取りには苦勞を伴ったが、結果は大好評裡に終わった。当日キャンプしていた若草地区ボーイスカウトのリーダー達が昼食後に来訪し、スタッフにいろいろと質問したり、子供たちが残した料理を試食して行ったのが印象に残った。また、子供たちも「オイシカタ!!」の声を終わりの会に残してくれた。

(文責 樋口善雄)



吉村 さつき

さっそく役立つ「救命救急講習会」!!

何かの時に役に立てばと思い会で案内のあった救命講習を受けました。

AED(自動体外式除細動器:電気ショックによる心臓蘇生法)の名前は聞くもののはじめて見る物でした。防災センターの方から丁寧に操作方法や普通救命の方法を教えてくださいました。

それから2週間後思いもかけず家族が救急車のお世話になりました。胸は高鳴り落ち着かなければと自分に言い聞かせ、講習で習った事を思い出し気道の確保をし、119番通報をしました。救急隊員の方の機敏な処置のお陰で嬉しい事に命に異常も無く、後遺症も残らず退院する事ができました。

暑い中の野外活動時には特に熱中症に気をつけなければいけません。

少しでも予備知識をつけることにより大きく結果が作用します。自分には関係が無いなどと思わずに、機会を作って是非救命講習を受けられる事をお勧めします。

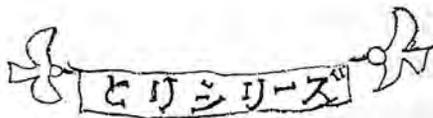
自然俳句欄

うろ

烏鷺の翔ぶ植田千畳宇陀郡

川井 秀夫

6月例会。伊那佐山を遠望して宇陀の田園地帯を歩く。
田植えの終わった里山風景。清い芳野川が流れ、田蛙が鳴き、
青大将が顔を出す。正に「日本のふるさと」の典型に洗心する。



アカショウビン

小田 久美子

毎年梅雨時になると遠く東南アジアから渡って来る夏鳥で、蛙やサワガニ、蟬を採ります。ネズミ、トカゲ、ムカデなどかなりの悪食、沢沿いの朽木に穴を開けて巣を作り子育てをします。

「アメフラシ」「アメフレフレ」などと呼び名が雨と連想されることの多い鳥です。『昔々、アカショウビンの子が他人の家に火をつけ、折からの風にあおられて火の勢いが増し、アカショウビンの子が火に吞まれてしまいました。驚いた母親は子供を助けようと何度も何度も口で水を運び火を消そうとしましたが、風は強く、子供は焼死してしま

いました。母親は全身大火傷、アカショウビンが赤いのはその火傷のため。子供を救えなかったアカショウビンの母親は、毎年梅雨時になると子供のことを思い出しては、あの時、雨さえ降っていれば、と、空を見上げて哀れそうな声で「雨フレフレ、雨フレフレ、キョロロロー」と泣くのです』とき、お・し・ま・い。



地域情報



★ (斑鳩) ハシブトガラス二話・①6/3 竜田川でツバメ 3羽がハシブトガラスを追い回しました。カラスは電柱の先端から民家の茂みに逃げ込みやがてどこかへ・・・こんなことがあるのですね。

・ ②6/5 三室山を登っていた時のこと、ハシブトガラス 2羽が私の頭上から桜の枯れ枝や葉をくわえて落としてきました。神社までの 50mの間鳴きながら執拗に追いかけてきました。巣に私が近づいたからでしょうか？

● ツバメの巣での排泄。雛が巣から尻を出して排泄をしていました。ツバメたちがうんちまみれでない訳がわかりました。(下にはうんちがいっぱいですよ。) (勝田)



【奈良忍辱山森林整備作業】

〈場所〉 奈良忍辱山国有林 (淀川、木津川、白砂川の源流域)
 (忍辱山円成寺駐車場) より徒歩10分

〈集合場所〉 国道369号線
 忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)

〈日時〉 7月 4日 (火) 10時20分 第51回
 7月29日 (土) 9時20分 第52回
 8月 6日 (日) 9時20分 第53回
 8月22日 (火) 10時20分 第54回
 〈終了予定〉 午後3時頃

【天候】 午前6時 奈良県北西部に警報が出されている場合は中止いたします

〈交通〉 奈良交通バス
 平日 [梅の郷月ヶ瀬温泉行き]
 土・日・祝 [柳生行き]

JR奈良駅⑥番乗り場	近鉄奈良駅④番乗り場	忍辱山円成寺
日祝 8:26	8:29	9:02
平日 9:30	9:33	10:06

臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100

〈持ち物〉 ヘルメット (防災用)、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物
 ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております
 《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》
 作業をしなくても結構です。自然観察を楽しんで下さい。待っています。

〈連絡先〉 弓場厚次 0774-72-5665
 阿部和生 0742-71-8687
 寺田正博 090-3488-1354

【行事報告】

6月6日 (火) 晴
 (参加者) 中畑、竹本 (V)、小森、新谷、明石、弓場、阿部、寺田。 8名
 作業は順調に捗っている。
 奈良森林事務所より2名の方に来場頂き指導を受ける。
 10月以後の整備地についても要望を行なう

【語源豆知識】 ヒノキ 檜・檜木

ヒノキ科の常緑高木。樹皮 (ひわだ) は赤褐色で、屋根材に用い、材は優良な建築材で船舶材・器具材・彫刻材にも利用される。「檜・比乃木」。『万葉集』に「まきさくひのつまでを」とあり、ヒノキを古語では単にヒともいった。ヒノキツマデは檜の角材という意味。ヒノキに漢字「檜」を使うのは当たっていないと牧野富太郎はいう。

- ①「火の木」の意で、古来この木をこすって火を起こしたことから。
- ②ヒメハノキ (姫葉之木) の義
- ④「日の木」もしくはもしくは「霊の木」などの諸説があるが、①が圧倒的に支持されている。しかし、実際には簡単には点火したりしない。そこでヒは「火」ではなく「日」なのであろう。皆さんはいかがとおもいますか。

第15回近畿自然歩道・まほろばの路

(くろんど池を訪ねる路)

- [日 時] : 7月6日(木)
[集 合] : 近鉄奈良線富雄駅 南側 バス停 午前9:30
* 交通:奈良交通バス 午前9:37<傍示行>乗車予定
[コース] :高山竹林公園→くろんど池→京阪交野線私市駅
[持ち物] :弁当、飲み物、雨具、観察用具など
[担 当] :大寺 道代
-

7月度例会 「長谷・天神山 与喜山暖帯林」

- [日 時] : 7月26日(水)
[集 合] : 近鉄大阪線 長谷寺駅 北側出口 10時
[交 通] : 西大寺9:07発 橿原線・普通→八木 乗換9:42発 大阪線・準急
鶴橋8:55発 大阪線・区間快速→五位堂 乗換9:25発 準急
→長谷寺9:55着
[コース] : 長谷寺駅→与喜天満神社→登山口→磐座→400mピーク→
天神山→まほろば湖→長谷寺→長谷寺駅 (約6.6キロ)
[持ち物] : 弁当、飲み物、雨具、観察用具など
[その他] : 「400mピーク」までは急な斜面、軽登山靴が必要
[担 当] : 古川 祐司
-

8月は「例会」・「近畿自然歩道・まほろばの路」共に休みます。

社会貢献事業へのお誘い

奈良県環境フェア(奈良県環境県民フォーラム主催)

今年も参加します。興味のある方は御参加下さい

- ◎ 日時: 7月29日(土) 9時30分～16時30分
- ◎ 場所: 奈良県広域地場産業振興センター JR高田駅前
近鉄大阪線大和高田より徒歩5分
- ◎ 出展: 子供対象に体験工作。モックン、竹の鶯笛、イヌ、ブタのペンダント等
- ◎ その他: ① 指導班編成の都合上参加、戴ける方は担当まで御連絡下さい
② 駐車場はJR高田駅前第2駐車場が使えます
③ 工具、材料は担当で調達、準備します
④ 弁当・飲み物は各自ご持参ください
- ◎ 担当: 小嶺敏勝 樋口善雄
本郷洋一郎 齋藤和子 岩田和子

協力活動 「いこま棚田クラブ」活動ご案内

【7月の取り組み】

向山の整備、草刈り、石垣出し ジャガイモの収穫、6月播種のコスモスの手入れ、
二号機 竹炭釜の試運転…炭焼きに興味の方、経験者の方ご参加ください(縦型で3~4
時間)断熱材を入れるなど さらに工夫。 宜しく!

◇ 作業日… 7月2日(日)、10日(月)、16日(日)、24日(月)、30日(日)

夏季になり午後の作業は、屋内の予定です。

◇ 集合場所…近鉄生駒駅下車(鶴橋駅より快速15分)南口側ケーブル鳥居口駅西隣
セブンイレブン前 9:00集合(現地まで車で移動約15分)

◇ 持ち物…弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴

◇ 連絡先…事務局 大寺道代

平成18年6月定例幹事会議事録

日時：6月2日(金)午後5:30~8:30 場所：奈良県女性センター

出席者：12名 司会：寺田、書記：豊島

【報告事項】

- (1) 第5回通常総会のまとめと新体制幹事の自己紹介を行いました。
- (2) 会員数：82名 現金残高：173,909円
- (3) 5月度例会「蜻蛉の滝から吉野青根ヶ峰」5月24日 五月晴れ 14名参加
- (4) 近畿自然歩道「矢田丘陵を越える路」5月10日 曇り後小雨 7名参加
- (5) 奈良・忍辱山森林整備作業 4月29日：6名、5月9日：8名、5月21日：5名参加 作業はほぼ8割終了しています。
- (6) くろかみやま自然塾 5月28日 スタッフとして10名参加(参加者76名)
午前：野草観察と野草料理、午後：ヨモギ入り餅つきを実施しました。
- (7) ならコープ環境保全活動助成団体報告会に川井会長が参加し、主に森林整備作業について報告しました。
- (8) いこま棚田クラブ 5月7、8、21、22日定例作業、5月20日いこまスカイウォークに協力。
- (10) その他 奈良県森林環境税使途事業林務担当課より「水と森林の月間」の趣旨説明とイベント開催依頼。

奈良県環境県民フォーラムへ年会費(2,000円)納入。川井会長水分科会に参加。

【討議事項】

- (1) 新体制 会長：川井 副会長：豊島 事務局：弓場 会報担当：勝田 会計：明石 会報発送事務：岩田 自然工作：小嶺 奈良・忍辱山担当：寺田、弓場、阿部(9月まで)
- (2) 会計処理について、会報発送実務について、入会案内書作成について、討議しました。
- (3) 18年度例会などの担当責任者の分担をおこないました。
- (4) 幹事会日程は7月から第1火曜日に変更しました。
- (5) その他 退任幹事問題について、熊野古道散策企画について、講師謝金の扱いについて討議しました。

編集担当 : 勝田 均

Tel&F:

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫